

■プロジェクトリーダーコメント

○リージョナルフィッシュ 研究開発部 無脊椎育種グループリーダー 荻野哲也



バナメイエビは、世界で最も生産量の多い甲殻類です。東南アジアを中心に養殖が盛んであり、日本はほぼ輸入に依存しております。日本でも養殖の新規参入が進む中、養殖業者は、全滅することもある病気のリスクに悩まされています。この悩みから解放されるために、外から水を入れない閉鎖型の養殖システムの開発が世界各国で精力的に行われていますが、主流となる閉鎖循環型養殖とバイオフィロック養殖の2方式を養殖規模で同時に比較した例はほとんどありません。本プロジェクトでは水質の管理・維持を行う最新機器を導入しながら2方式を比較し、バナメイ養殖に最高の生産性をもたらす養殖パッケージを目指します。現時点において、東南アジアが圧倒的に有利な状況であるため、国内勢は養殖技術開発を競争領域ではなく協調領域として、さらにパートナーを募り、オープンイノベーションを進めていければと思います。病気のリスクを払拭でき、高い生産性を実現する、日本式の養殖パッケージが、世界中どこに行っても見られる日を思い描きながら、開発に取り組みたいと思います。